
天使か悪魔

きなこ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

天使か悪魔

【Nコード】

N9109L

【作者名】

きなこ

【あらすじ】

仲がいいのか悪いのか義理姉妹

「牛乳が無いからって苺ミルクをコンフレークに入れると後悔しますよ。」

そんなの、入れた後に言われたって遅い。後の祭りだ。私はピンクに染まったコンフレークを眺めて溜息をついた。

「おいしくなかったでしょう？」

おいしいとか、おいしくないとか、関係ない。なんかもう次元が違う味だ。奇跡に近い新感覚だ。

「でも全部食べてくださいね。もったいないから。」

義理姉は有無を言わさぬ微笑で私に言った。

もうすでにコンフレークはほとんどふやけていて、食欲を根こそぎ奪われる状態だ。

私は突如、この忌々しい失敗作を庭に投げ飛ばして土に埋めて全くなかったことにしたい衝動に駆られた。

でも、この人の前でそんな事できない。やったら最後、私は日の光どころか電球の光さえも拝めなくなる。一生地上へ出られない。

仕方なく、やけに小さいスプーンで元コンフレークをすくった。ごめんね、私にさえ出会わなければもっと美味しくなれたっていうの

に。

心から謝罪しながら、ゆっくりと口に運ぶ。義理姉はその様子を微笑みながら見ている。

ときどき、この人は私のことがものすごく嫌いで、もう東京湾に沈めたいくらい嫌いで、こんな微笑を向けてくるんじゃないかと思う。というか、きっとそうなのではないだろうか。だってちょっと、おえ、これはもう食料ではない気がする。可愛い色した殺人兵器だ。

「そんなに不味いですか」

いや、だからそういうんじゃないで、なんかこれを作り出した自分が憎い。思考回路はショート寸前だったのだから。お母さんなんでも牛乳がなかったの……！！

「そんなもの食べるくらいなら、私が何か作ってあげましたのに。」

義理姉の言葉に、私は耳を疑いに疑った。え、まじですか。そんなら早く言ってくれば良かったのに。

悪魔のような天使だったのか。今まで私ったらこの人の何を見てきたのかしら。こんなに優しい微笑を向けてくれる天使に、なんて酷いこと思ってたんだろう。

「じゃあ焼きそば「けどやっちゃったものは仕方ないですよ。ちやっちゃと食べてください。そんなもの見せられてる私の身にもなってください。」……………でも……………」

やはり悪魔は悪魔だった。もう嫌だ。いつか私はこの人に海外へ売り飛ばされてしまいかもしれない。それはもう明日かもしれない。嫌だ怖すぎる。

けれど、やはり義理姉は私の向かいでニッコリと微笑むのだ。天使みたいに！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9109/>

天使か悪魔

2010年10月13日12時12分発行